



# 6月

# 2024

# 病児保育だより

くすもと小児科  
ひよこハウス

新年度スタートしてから2か月。環境の変化や大型連休を経て子供さんもしっかり新しい環境に馴染んで来られたのではないのでしょうか。

春から初夏・梅雨と、子供さんたちが季節の移り変わりを体感するには良い時期ともいえます。ですが気温・湿度とも上がり汗ばむ季節でもあります。汗対策をはじめ、健康管理には十分気を付けていきましょう。

## RSウイルス感染症



### 原因は？

RSウイルス感染症は、冬に流行する呼吸器感染症です。RSウイルスは乳幼児の呼吸器感染症(風邪症状)の主要な原因ウイルスで、ほとんどの子供が2歳くらいまでにかかります。

### 症状は？

6か月未満の乳児がかかりやすく、潜伏期は4～5日間で、38℃～39℃の発熱と鼻水、せき、のどの痛みなどの風邪の症状(上気道炎)を示します。悪化すると、呼吸がしにくくなり顔色が悪くなったり、哺乳ができなくなります。免疫力が弱っている高齢者でも重症化することがあります。

### 感染経路は？

感染は、飛沫や接触感染によります。子供同士での咳やくしゃみを介して感染したり、気道の分泌物がついたおもちゃをしゃぶることで感染します。予防には手洗いとうがいをよく行うことと、タオルの共用は避けることなどが有効です。

### 家庭では？

十分な休養と水分補給が重要です。室内の温度を保つことも大切です。

### RSウイルスの検査は？

鼻の中の粘膜を綿棒でぬぐった液や鼻汁を吸い取って検査します。入院した場合に保険での検査が認められます。

### 治療は？

特効薬はなく、対症療法※になります。

※対症療法…その病気の症状として現れてきたものに対して治療を行うこと



「急性上気道炎」・「RSウイルス感染症」・「下痢症」  
「耳下腺炎」・「溶連菌感染症」・「気管支炎」

病児保育室

くすもと小児科  
ひよこハウス  
0956(31)7828

RSウイルス感染症は、放っておくと重症化しやすいので、症状が軽いうちに早めに医師の診察を受けましょう。



お気軽にお問い合わせください!!!